

農業共済新聞

突き出し[1面]
天地7.0cm:左右6.0cm
100,000円

題字下[1面]
天地7.0cm:左右3.6cm
100,000円

書籍広告[1面]
スペース3段6分の1
天地9.9cm:左右5.9cm
50,000円

5段4分の1
天地16.9cm:左右9.2cm
187,500円

5段2分の1
天地16.9cm:左右18.5cm
375,000円

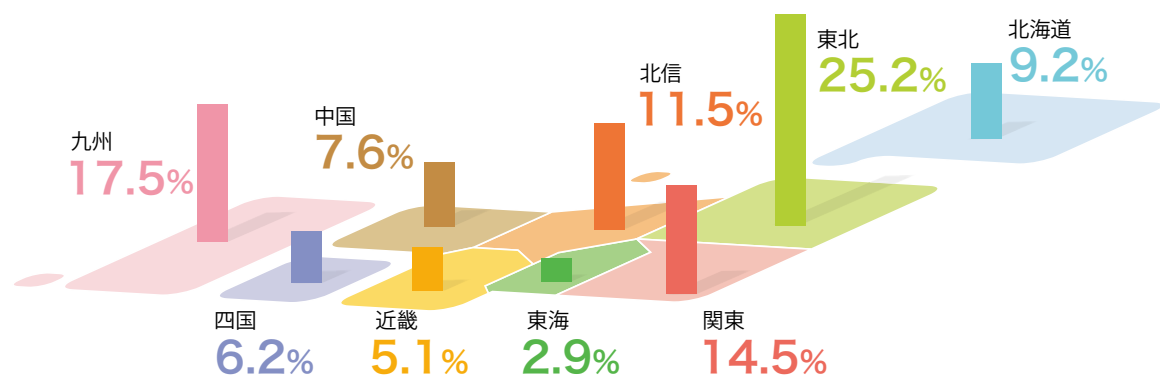
基本料金

記事下 全1段.....150,000円
 カラー広告追加料金.....300,000円
 広告差し替え料金.....30,000円

全5段
天地16.9cm:左右37.4cm
750,000円

農業共済新聞エリア別購読比率

平成24年9月現在



農業共済新聞は
月4回・水曜日発行です

購読料 月極購読料[税込み] 420円
年極購読料[税込み] 4,680円



発行 公益社団法人全国農業共済協会 〒102-8411 東京都千代田区一番町19番地
TEL 03-3263-6727 FAX 03-3221-7978 <http://www.nosai.or.jp/>



地域を元気に、 価値ある情報を わかりやすく

農業共済新聞は、農業・農村の振興と農業共済（NOSAI）制度の普及推進などを旨とする農業専門紙です。1948年4月に創刊し、2013年8月には3000号を発行しています。一貫して「農家に学び 農家に返す」を編集方針とし、農業・農村の生産現場に軸足を置いています。

編集は、発行元の全国農業共済協会と全国各地の農業共済団体による組織編集に取り組み、ほぼ全国をカバーする地方版も掲載しています。紙面は、わかりやすい農政解説、ルポによる生産現場の紹介、農業共済制度の説明や農業共済団体の活躍、営農・暮らしに役立つ情報をはじめ、文化・娯楽などの家族で楽しめる内容も提供しています。

1面

農業・農村に展望を開く先進的な営農や地域の工夫を、立体的なルポで紹介します。農政の重要課題と政策に対しては、生産現場の視点から掘り下げて報道・解説します。また、自然災害に対するNOSAI制度の機能や団体の対応、地域農業・農村振興に貢献する団体の活動を紹介します。有識者が寄稿する「ひと・意見」、農家など8人の筆者が執筆するコラム「ズバリ直言」も好評です。

総合面

変化する農業・農村の状況や農政の動きなどを背景事情も含めてわかりやすく解説しています。鳥獣害対策や農作業安全、6次産業化など営農や生活にかかわる課題なども取り上げています。農家が執筆するコラム「大波小波」は、農政への要望や農業・農村の現場からの率直な声がわかると人気です。

情報

地方版からえりすぐりの話題を集めた「支局ネットワーク」のほか、読者投稿の「ひろば」を掲載しています。法律相談や教育相談、資材の活用や特産作物の栽培・加工のヒントを紹介する連載、各メーカーが発売する新製品の紹介コーナーも人気です。

流通

農畜産物の販路を開拓する事例のほか、加工販売を手がけて産地づくりに励む農家や地域の活動などをルポで紹介します。経営の参考になる最新の情報提供に努め、表示をはじめ流通にかかわる制度の動きを解説しています。また、専門家や流通関係者が執筆するコラム欄では、米や畜産、野菜、花きなど主要品目の市況から産直、輸出まで幅広く取り上げています。

NOSAI

NOSAI制度の基本的な仕組みや損害評価の流れなどをわかりやすく解説します。制度の普及に尽力する地域のNOSAI部長の姿を紹介するほか、損害の未然防止や地域貢献を目指して活動する、NOSAI団体の活動も取り上げています。NOSAI獣医師が診療活動の様子などを執筆する「こんにちは獣医師です」も好評です。

技術・資材

営農や経営に役立つ農家の工夫を、各地に取材して掲載します。試験研究機関による最新の研究成果を、図や写真を使いわかりやすく紹介しています。連載は、専門家に依頼し、基本技術や先端技術の解説、経営のヒントなどを取り上げています。資材欄では、農業資材の効率利用や農機具の管理のポイントなどを掲載しています。

青年・文化・娯楽

「青年」は、地域で活動する青年たちに企画段階からお任せし、自由な編集による思い切った自己主張が人気のページです。「文化」欄は、有識者に依頼して農山漁村の伝統文化などへの思いを執筆していただきます。「娯楽」欄は、プレゼント付きの楽しいクイズをはじめ、「こども遊び図鑑」などの連載が好評です。

暮らし

地域を活気づけようと活動する女性や高齢者などの取り組みを紹介するほか、専門家に依頼して生活に役立つ情報の提供に努めています。農家女性が身近な出来事や考え方を交代で紹介する人気のコラム「晴れ間」のほか、「華やか花壇」、料理コーナーなどの連載も充実しています。

地方版

地域の身近な話題を紹介する地方版は、30道県の単独版のほか、2県以上が共同編集する共通版をお届けしています。営農の工夫や鳥獣害対策、直売所や特産品づくりなど、地域に密着した話題を紹介しています。北海道と東北地方では、地域に密着した営農技術情報をお届けする営農技術版を発行しています。

北海道版	新潟版	香川版
青森版	富山版	愛媛版
岩手版	北陸版	高知版
宮城版	長野版	四国版
秋田版	東海版	福岡版
山形版	近畿版	長崎版
福島版	兵庫版	熊本版
茨城版	鳥取版	大分版
栃木版	島根版	宮崎版
群馬版	岡山版	鹿児島版
埼玉版	広島版	総合地方版
千葉版	山口版	北海道営農技術版
山梨・神奈川版	中国版	東北営農技術版

農業共済新聞の主なあゆみ

- 1948年（昭和23年）**
「農業共済新聞」創刊（4月21日）
タブロイド半裁判、4ページ、13,000部
月1～2回発行、定価5円
発行所：農業家畜保険協会。
第7号（9月10日発行）タブロイド判、4ページ
新聞名「農業共済」第三種郵便物認可（11月8日）
- 1949年（昭和24年）**
第12号（2月10日発行）月2回発行
- 1950年（昭和25年）**
第34号（1月1日発行）月3回発行
発行所名を全国農業共済協会と改称（2月）
- 1951年（昭和26年）**
第90号（9月4日発行）月4回発行
- 1952年（昭和27年）**
「農業共済」を「農業共済新聞」と改称（4月）
第140号（10月7日発行）
題字を横組みから縦組みに変更
大判15段組み、地方版8段。
- 1962年（昭和37年）**
「北海道営農技術版」創刊（6月27日）
- 1965年（昭和40年）**
北海道支局開局（6月28日）
北海道営農技術版を月3回発行
- 1971年（昭和46年）**
第1000号記念（2月10日発行）
- 1974年（昭和49年）**
東北総局開局（3月1日）
「東北営農技術版」創刊（4月17日）
- 1992年（平成4年）**
創刊2000号記念（5月20日発行）
農業共済新聞のマスコット「ノーサイくん」誕生
- 1993年（平成5年）**
過去最高部数330,714部（3月）の達成
- 2001年（平成13年）**
編集をDTPシステムに全面移行
- 2013年（平成25年）**
創刊3000号（8月28日発行）